

(2) 学校での生活

①教科の好き嫌い

問21 次の教科は好きですか、きらいですか。

(とても好き、好き、どちらともいえない、きらい、とてもきらい から選択)

A <小学生>

a 国語 b 社会 c 算数 d 理科 e 音楽 f 図工 g 体育
h 家庭科 i 道徳 j 学級活動(学活) k 総合的な学習の時間 l 外国語活動

B <中学生>

a 国語 b 社会 c 数学 d 理科 e 音楽 f 美術 g 保健体育
h 技術・家庭 i 道徳 j 学級活動(学活) k 総合的な学習の時間 l 英語

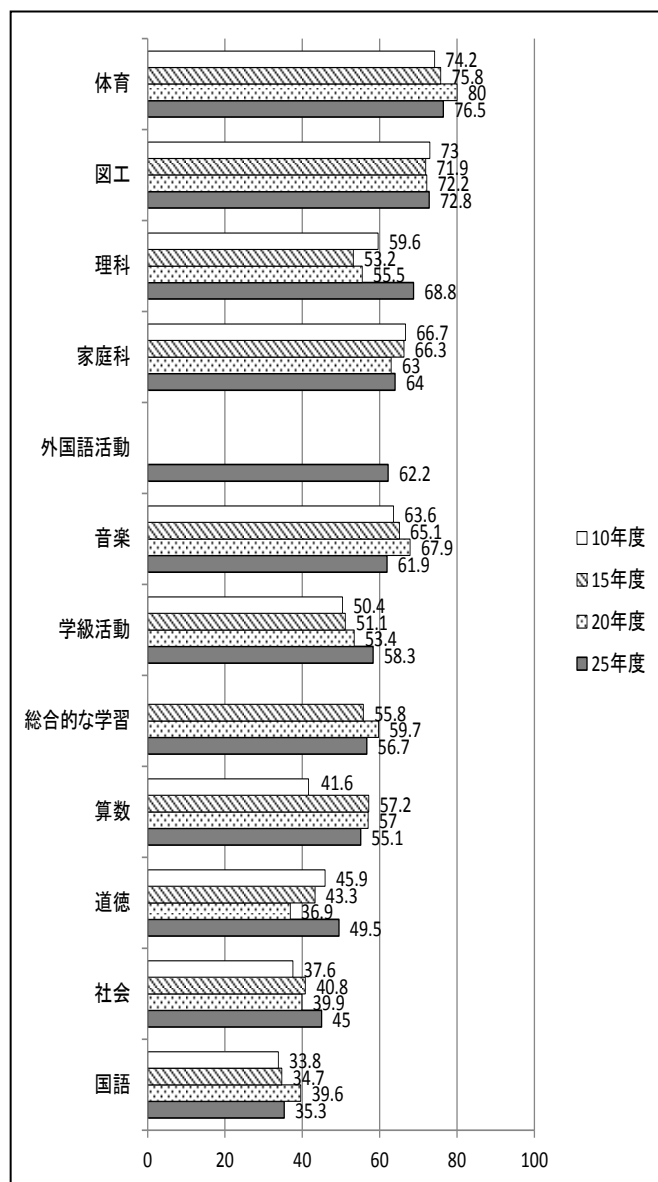
※「総合的な学習の時間」は、平成15年度より追加

※小学生の「外国語活動」は、平成25年度より追加

※グラフは、「とても好き」「好き」を合わせたものである。

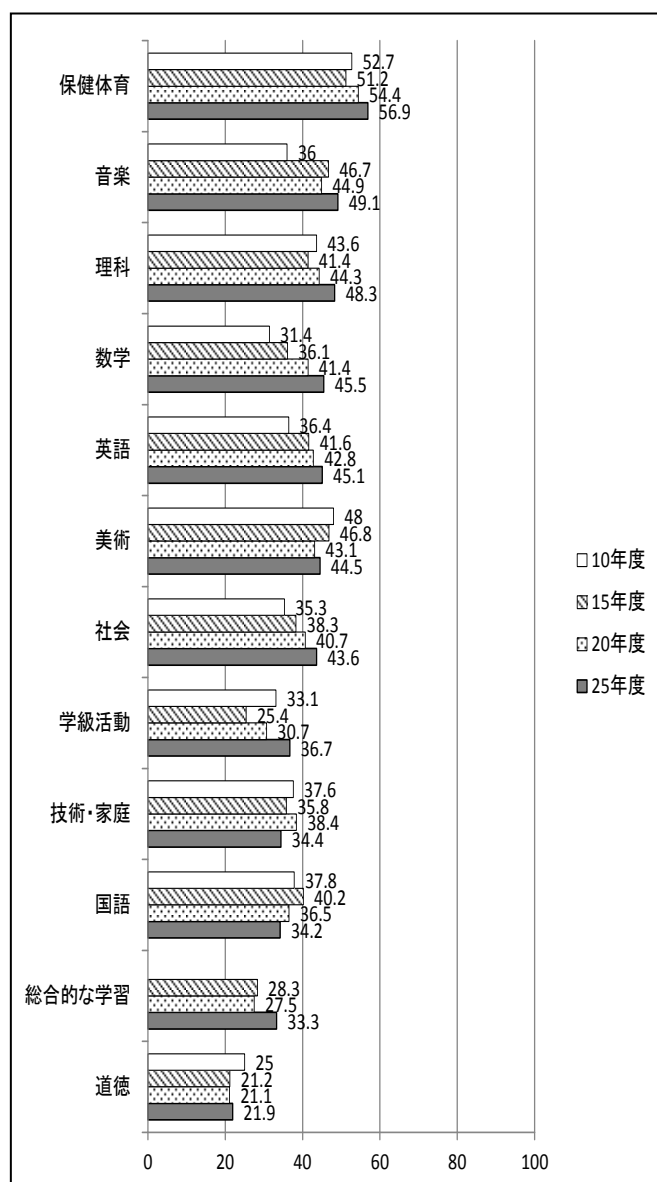
問21 好きな教科(小学生)

<とても好き+好き>



問21 好きな教科(中学生)

<とても好き+好き>



＜平成２５年度の結果＞

小学生では、「とても好き」「好き」の割合がどの教科でも高く、実技系の教科が「とても好き」「好き」の割合が高い傾向にある。また、算数・理科といった理数系の教科の「とても好き」「好き」の割合が高い。

道徳、学活、総合は、小学生に比べて中学生では、好きと回答する割合の減少が大きく、特に道徳が顕著である。^(*)

小学生では国語、中学生では国語と道徳について、「とても好き」より「とても嫌い」の割合が高くなっているのが気になる。^(*)（※基礎集計表参照）

参考として、中学生では、図工に比べると美術の好きの割合が減り、嫌いと回答する割合が増えている。^(*) 特にこれは中学生男子で顕著である。^(*)

実技教科は、全体的に中学生よりも小学生のほうが好きな割合が高く、男子よりも女子のほうがより高く、男女差がみられる。^(*) ただし、保健体育のみは、女子よりも男子のほうが、小学生、中学生ともに好きな割合が高かった。^(*)

＜平成１０年度から２５年度を通しての比較＞

小学生では、算数は第２次調査で「とても好き」「好き」の割合が高くなった以降横ばいの傾向である。^(*) 道徳と理科、社会は、第４次調査が「とても好き」「好き」の割合がもっとも高くなった。^(*)

中学生では、多くの教科で「とても好き」「好き」の割合が上昇している。^(*) 特に数学、社会、保健体育では、第１次調査から１０％程度上昇している。^(*)

全体として、第４次調査において過去の調査に比べて、「とても好き」「好き」の割合は、基本的に横ばいか増加している結果となった。^(*)



②行事の楽しさ

問22 次の行事は楽しいですか。

(楽しい、どちらともいえない、楽しくない、参加したことがない から選択)

A <小学生>

a 遠足

b 修学旅行などの宿泊行事

c 運動会

d 学芸会 (学習発表会・音楽会等)

B <中学生>

a 泊をともしなわなない遠足

b 修学旅行などの宿泊行事

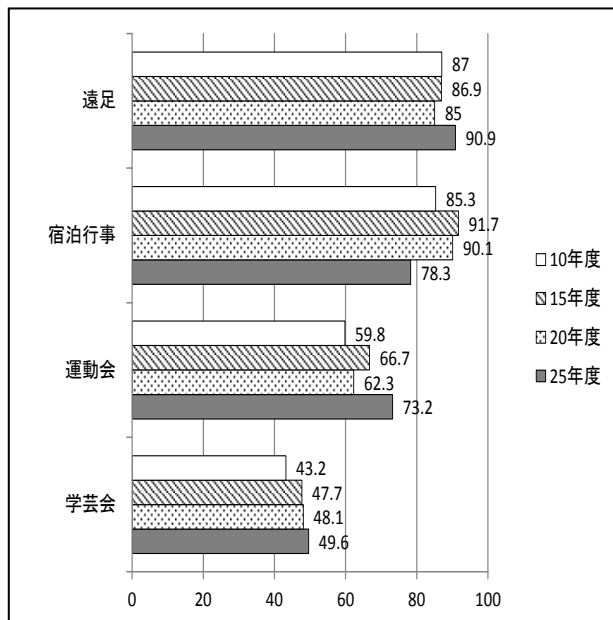
c 体育祭

d 合唱コンクール (音楽祭)

※グラフは、体験したことのある児童・生徒で「楽しい」と答えたものである。

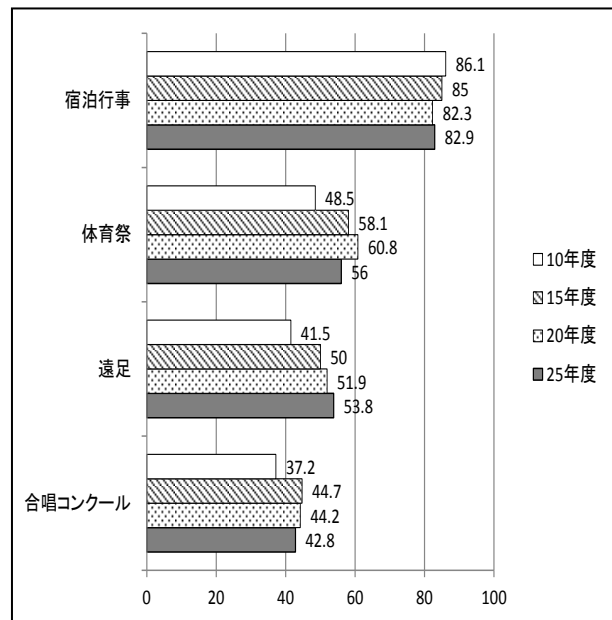
問 22 行事の楽しさ (小学生)

<楽しい>



問 22 行事の楽しさ (中学生)

<楽しい>



<平成25年度の結果>

小学生では、「遠足」「修学旅行などの宿泊行事」、中学生では、「修学旅行などの宿泊行事」を「楽しい」と回答している割合が高く、特に「遠足」では9割以上が「楽しい」と回答している。

また、小学生では、「学芸会 (学習発表会・音楽会等)」、中学生では、「泊をともしなわなない遠足」「体育祭」「合唱コンクール (音楽祭)」を「楽しい」と回答している割合が低い。特に中学生男子で低く、「合唱コンクール (音楽祭)」については、2割強と低い。全体的に、小学生のほうが中学生よりも「楽しい」という回答が多くなっている。ただし、調査日時点では、当該年度の体育祭や学芸会・合唱祭を始めとした行事が実施されておらず、その他の行事についても学校により実施されていない場合があるため、注意が必要である。

＜平成10年度から25年度を通しての比較＞

小学生、中学生ともにいずれの行事も第1次調査に比べ、第2次調査以降「楽しい」の割合が増加し、基本的に増加もしくは横ばいの傾向にある。^(*) 中学生の合唱祭以外の行事は、半数以上が「楽しい」と回答しており、行事について各学校の取り組みや活動の充実がみられる。また、中学生の「合唱コンクール（音楽祭）」についても、「楽しい」の割合が増加している。^(*)



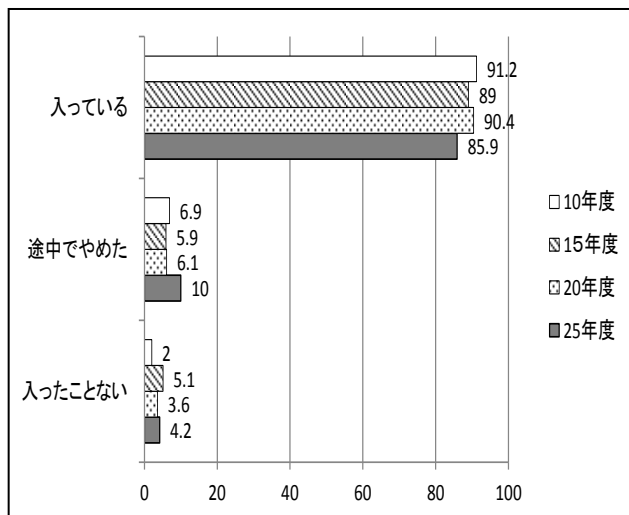
③部活動への参加状況と要望（中学生のみ）

問 3 9 部活動に入っていますか。

（2と答えた人はAを、1と答えた人はB～Fを教えてください。）

1. 入っている 2. 入っていたが今はやめた 3. 入ったことがない

問 39 部活動に入っているか



<平成25年度の結果>

部活動への加入率は、男子8割弱、女子8割強である。

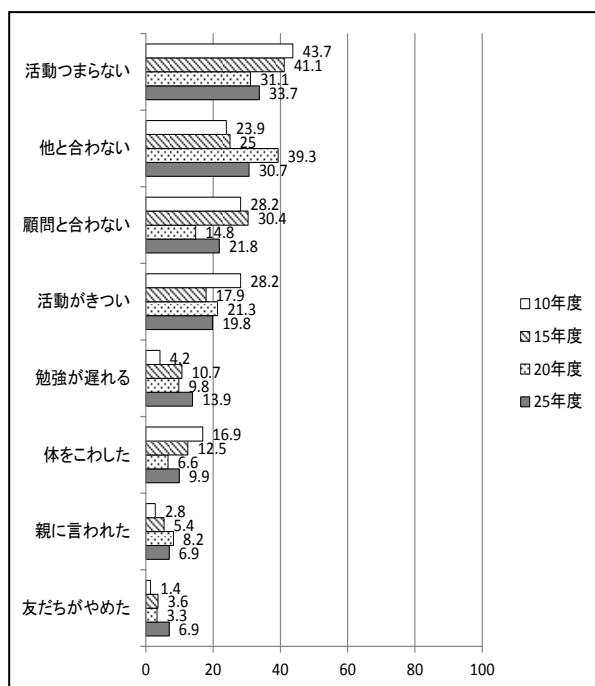
<平成10年度から25年度を通しての比較>

部活動に入っている生徒は緩やかに減少しており、本調査が最も低い入部率となり、5%ほど減少した。(*)「入っていたが途中でやめた」生徒が、増加した。(*) これについては、公立高等学校入試選抜の資料に、部活動の評価が含まれなくなった影響もあるかもしれない。

A やめたおもな理由は何ですか。（2つまで○）

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 勉強が遅れるから | 5. 友だちがやめたから |
| 2. 親に言われたから | 6. 他の部員と合わなかったから |
| 3. 活動がきつから | 7. 顧問と合わなかったから |
| 4. 体をこわしたから | 8. 活動がつまらなかったから |

問 39 A 部活動をやめたおもな理由



<平成25年度の結果>

入部した生徒のうち、1割程度が退部しているが、その主な理由は、「活動がつまらなかったから」「他の部員と合わなかったから」の回答が多い。

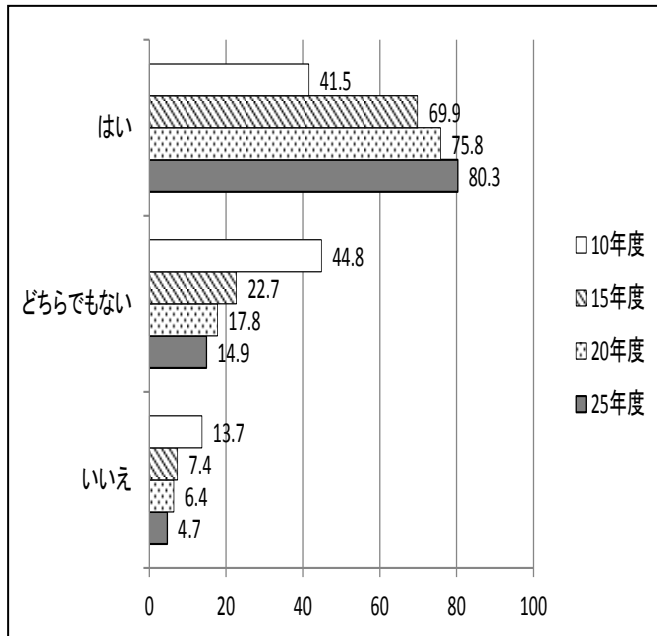
<平成10年度から25年度を通しての比較>

退部してしまう生徒が増えているが、「途中でやめた」という解答が5%増えているため、部活動経験者には変化はない。

また、退部の理由についても、大きな変化は見られない。

B 自分が入っている部の活動に積極的に参加していますか。
 1. はい 2. どちらともいえない 3. いいえ

問 39B 部活動に積極的に参加しているか



＜平成25年度の結果＞

部活動に積極的に参加していると回答している割合は、8割程度である。

＜平成10年度から25年度を通しての比較＞

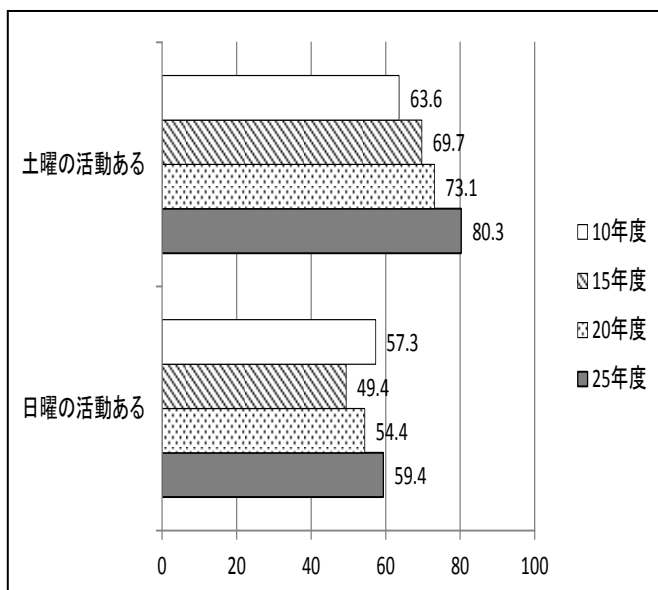
積極的に参加している生徒は、調査開始時からずっと増加し続け、8割を超えた。(*)「いいえ」と答えた生徒は5%を切り、入部者のほとんどが積極的に参加していることと、「途中でやめた」生徒が増えていることを考え合わせると、積極的に参加していない生徒から退部者が出ていると思われる。

C 土曜日の活動はありますか。（大会や発表会等は除く）
 1. はい 2. いいえ

D 日曜日の活動はありますか。（大会や発表会等は除く）
 1. はい 2. いいえ

※グラフは、「はい」と答えたものである。

問 39CD 土・日曜の活動〈はい〉



＜平成25年度の結果＞

土曜日に活動がある部活動は8割程度、日曜日は6割程度である。

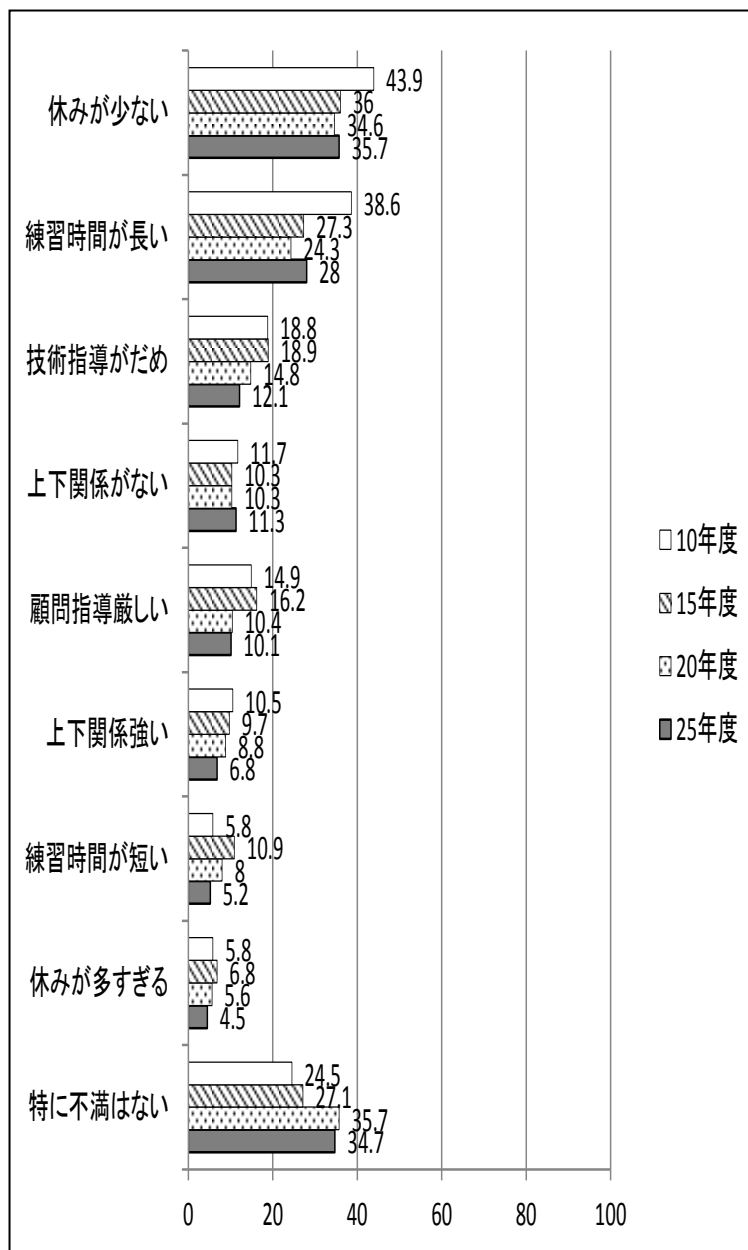
＜平成10年度から25年度を通しての比較＞

土曜日、日曜日の活動の割合も増加しており(*)、本調査が最も多い。学校に週5日制を導入したねらいの一つである、「家庭や地域社会での生活時間の比重を増やし、子どもたちが主体的に使える自分の時間を増やす」は、薄れてきている。

Ｅ 部活動で、不満を感じることは何ですか。（３つまで○）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 練習時間が長すぎる | 6. 先輩・後輩の関係がなさすぎる |
| 2. 練習時間が短すぎる | 7. 顧問の指導がきびしすぎる |
| 3. 休みが少なすぎる | 8. 技術指導がしっかりしていない |
| 4. 休みが多すぎる | 9. 特に不満は感じていない |
| 5. 先輩・後輩の関係がありすぎる | |

問 39 E 部活動で不満なこと

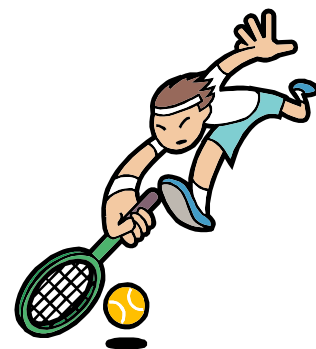


＜平成25年度の結果＞

部活動で不満に感じることは、「特に不満は感じていない」の回答が多いが、「休みが少なすぎる」「練習時間が長すぎる」の回答も多い。

＜平成10年度から25年度を通しての比較＞

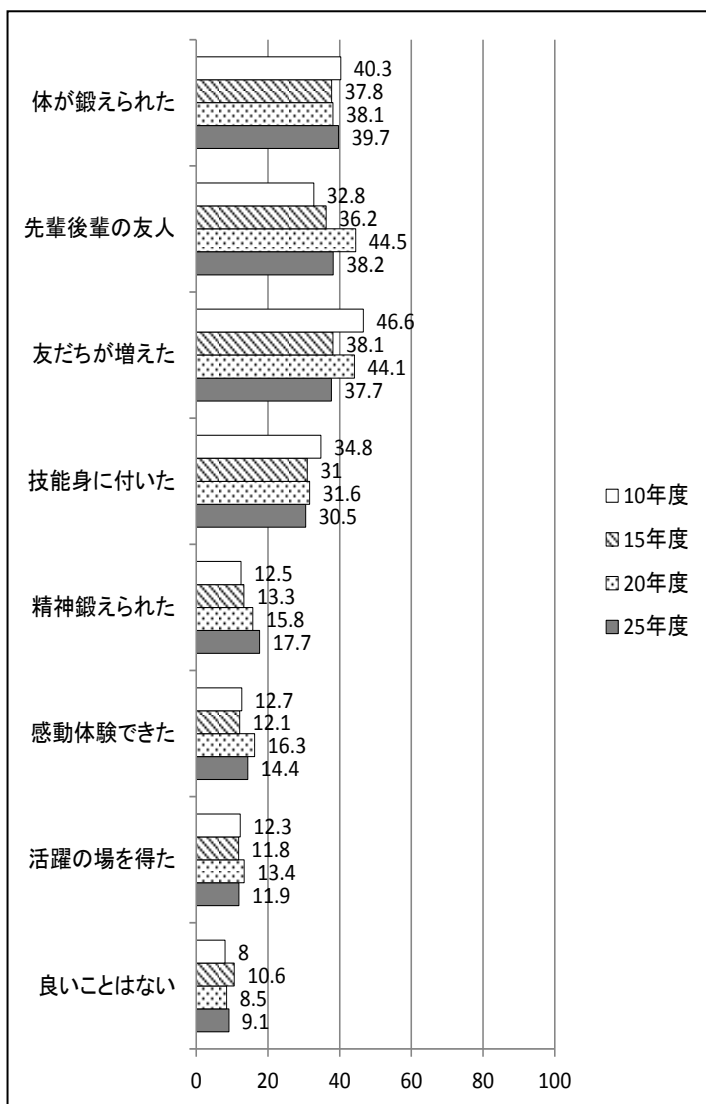
全体的に、「不満に思うこと」は減少し、「特に不満を感じていない」の割合が増加傾向である。^(*)ただし、部活動を退部する生徒が増えていることから、不満の無い生徒の割合が上昇しているだけと考えることもできる。



F 部活動に入っていて、よかったと感じることは何ですか。（3つまで○）

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 体が鍛えられた | 5. 先輩や後輩にも友人ができた |
| 2. 技能が身についた | 6. 自分の活躍の場が得られた |
| 3. 精神面が鍛えられた | 7. 大きな感動を体験できた |
| 4. 友だちが増えた | 8. よかったと感じることはない |

問 39 F 部活動で良いこと



<平成25年度の結果>

部活動に入って、よかったと感じることは、「体が鍛えられた」「先輩や後輩にも友人ができた」「友だちが増えた」「技能が身についた」の回答が多い。

<平成10年度から25年度を通しての比較>

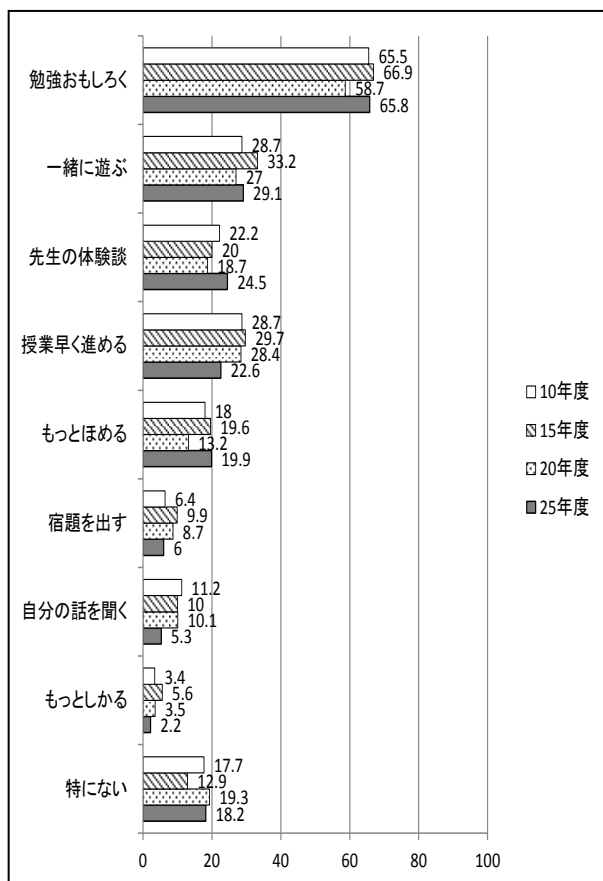
大きく変動はないが、「精神面が鍛えられた」と答える生徒が増加している。

④教師への要望

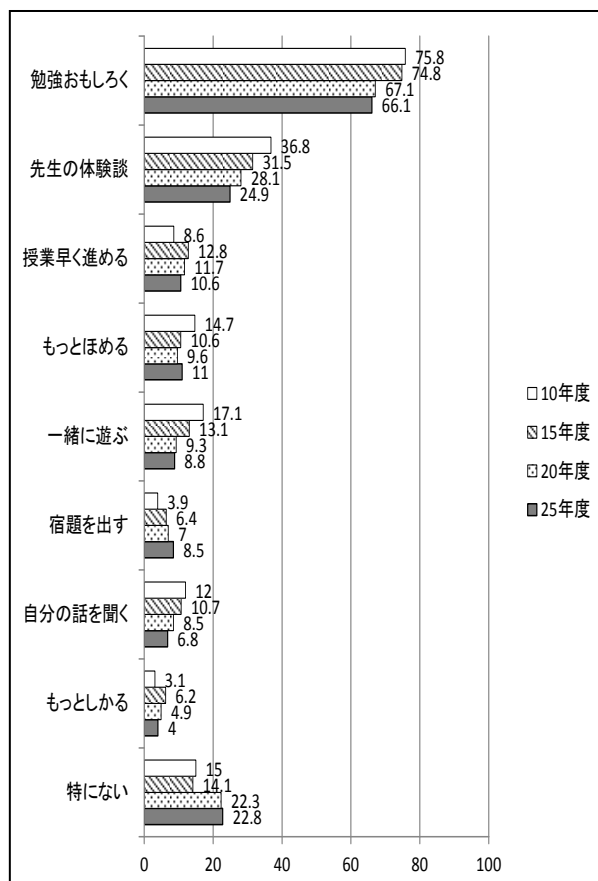
問 1 4 先生に、どんなことをしてほしいですか。（3つまで○）

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 勉強をおもしろく教える | 6. 授業を早く進める |
| 2. 自分の話をもっときく | 7. もっとしかる |
| 3. 一緒に遊ぶ | 8. もっとほめる |
| 4. 先生自身の体験談をもっと話す | 9. 特にない |
| 5. 宿題を出す | |

問 14 先生にしてほしいこと（小学生）



問 14 先生にしてほしいこと（中学生）



<平成 2 5 年度の結果>

小学生、中学生ともに、「勉強をおもしろく教える」と回答している割合が、6割から7割と最も高い。その次には、小学生では、「一緒に遊ぶ」が、中学生では、「先生自身の体験談を話す」が続く。小学生では、2割以上が「授業を早く進める」という回答だが、中学生では、その割合が半減している。小学生では、「もっと褒めてほしい」の割合が2割あるが、中学生では、その割合は下がる。

参考として、男女別では、女子の方が「もっとほめてほしい」と感じている。

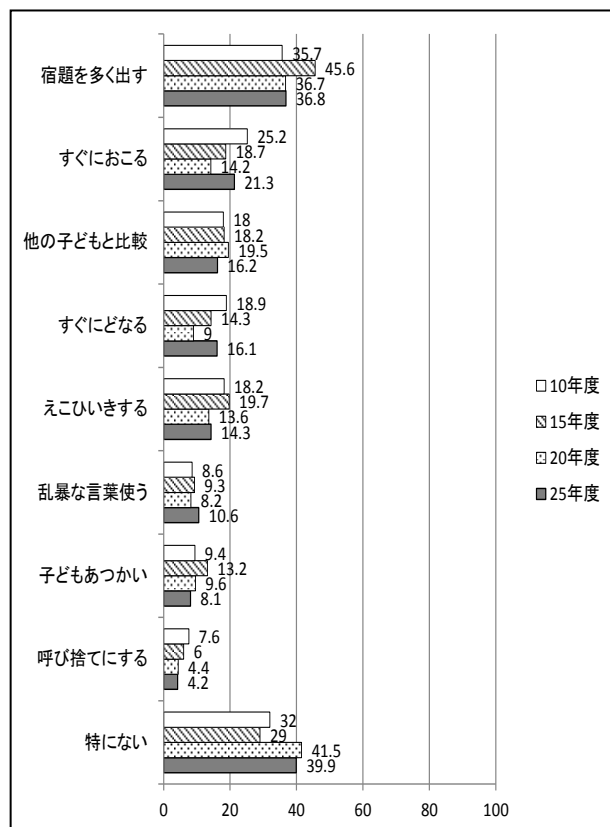
<平成 1 0 年度から 2 5 年度を通しての比較>

小学生は、「授業を早く進める」「自分の話を聞く」が減少しているが、その他は傾向に変化は見られない。(*) 中学生では、「特にない」の割合が増える一方、他の項目は減少傾向にあるが、「宿題を出す」については微増している。(*)

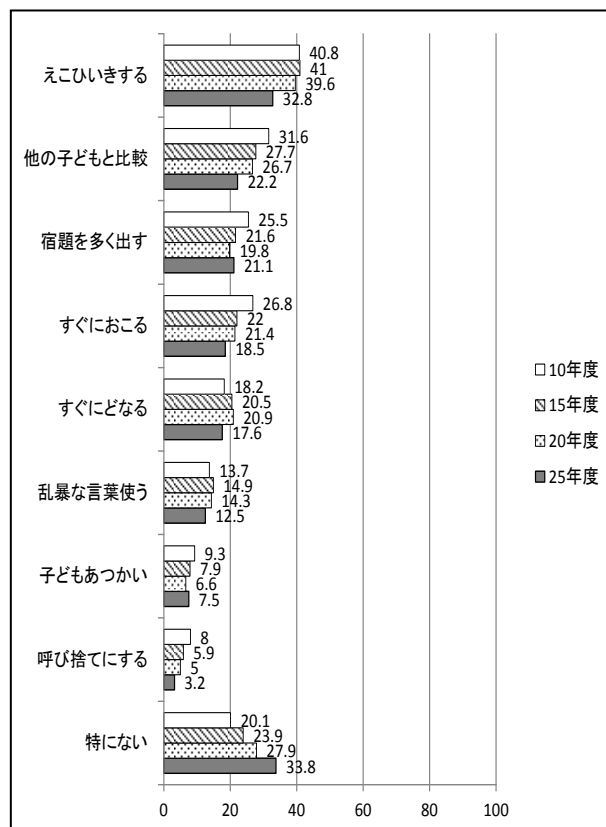
問 1 5 先生に、どんなことをやめてほしいですか。（3つまで○）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 子どもあつかいをする | 6. 呼び捨てにする |
| 2. えこひいきをする | 7. 乱暴な言葉を使う |
| 3. 宿題をたくさん出す | 8. ほかの子どもと比べる |
| 4. すぐにおこる | 9. 特にない |
| 5. すぐにどなる | |

問 15 先生にやめてほしいこと（小学生）



問 15 先生にやめてほしいこと（中学生）



<平成25年度の結果>

「特にない」と回答している児童、生徒の割合が最も高いが、それ以外では小学生では、「宿題をたくさん出す」、中学生では、「えこひいきをする」と回答している割合が高い。

参考として、中学生女子では、「えこひいきをする」の割合が小学生や中学生男子より高く、同様に「どなる」「ほかの子どもと比べる」が他に比べて高い傾向にある。^(*) 反面、「特にない」の割合については、他に比べて中学生男子が高い。^(*) 日常的な教師の言葉かけについてさらに気を配っていく必要があるだろう。

<平成10年度から25年度を通しての比較>

問14と同様に、小学生、中学生ともに「特にない」の割合が増える一方、他の項目は概ね減少傾向にある。^(*) ただし、小学生については、前回調査までは減少していた「すぐにおこる」「すぐにどなる」や「乱暴な言葉を使う」が本調査では増加しているのが気になる。